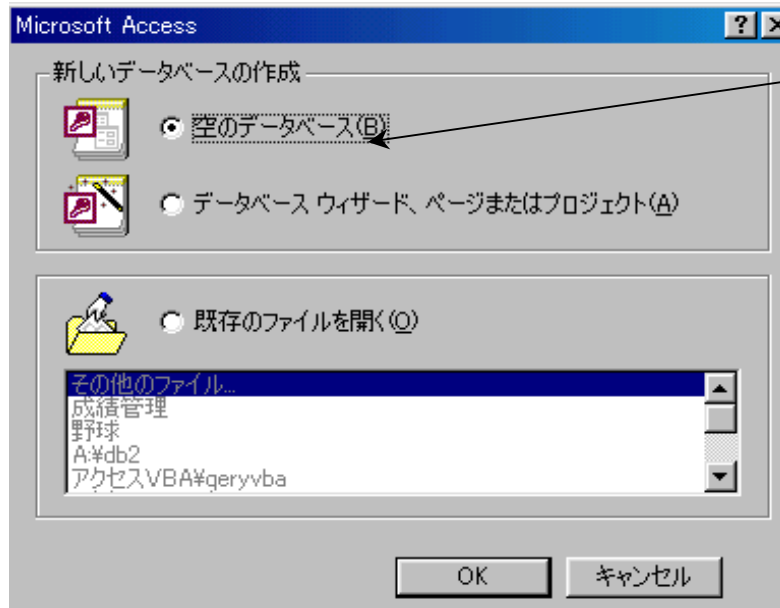


ACCESS入門編

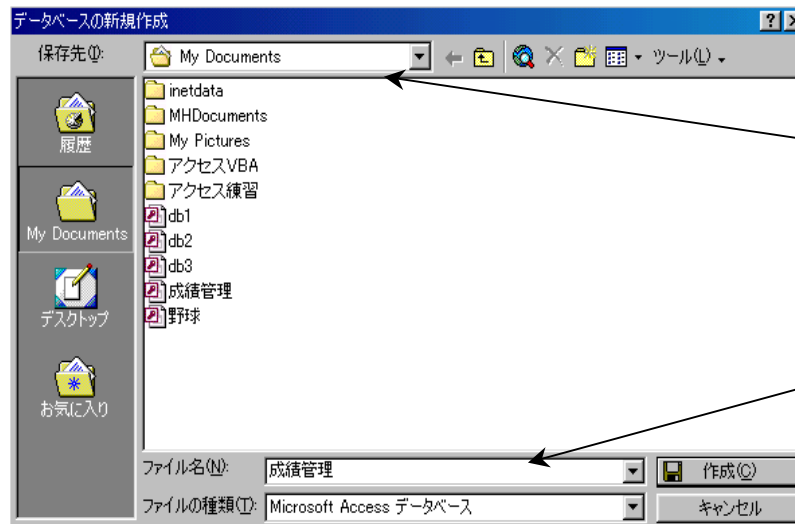
起動と終了

起動



新規作成するので空のデータベースをクリック

終了

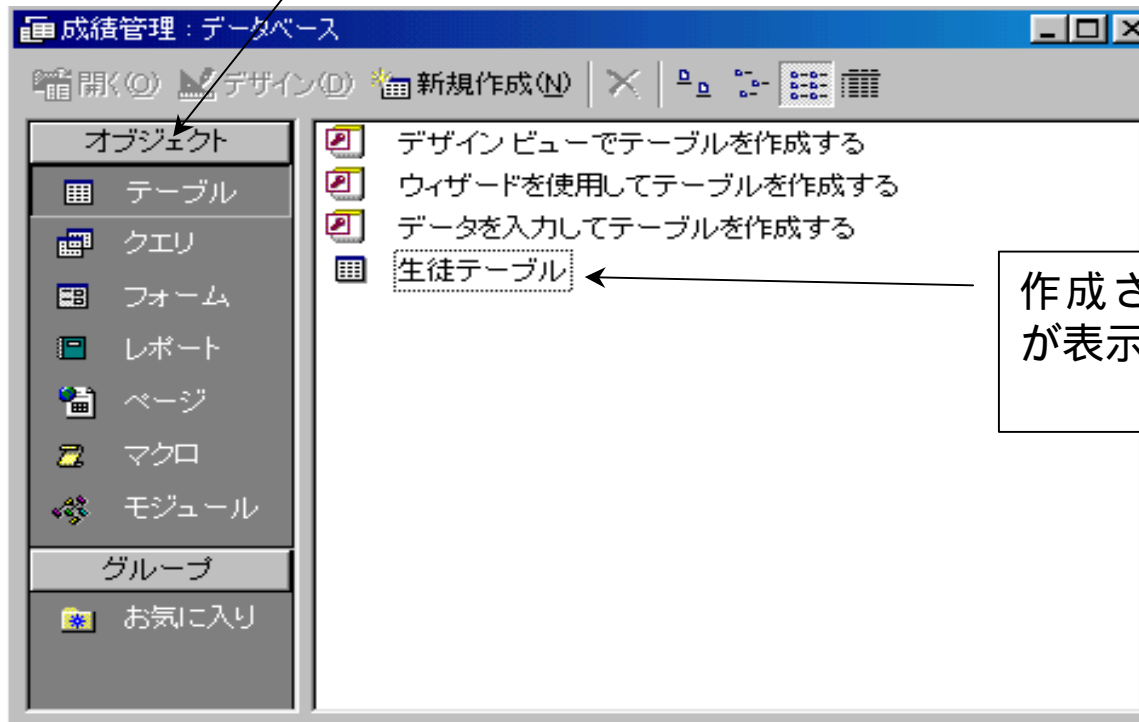


保存先のフォルダー指定

保存するファイル名入力

データベースウィンドウ

作業したいオブジェクトをクリック



作成されたテーブル
が表示されている

フィールド名とデータの型

データ型	用途
テキスト型(規定値)	最大半角で255文字までの文字データが入力できる。
メモ型	最大半角で65535文字までの文字データが入力できる。
数値型	バイト型(0~255)・整数型(-32768から32767)範囲の整数・その他長整数型(小数以下使用不可)・単精度浮動小数点型・倍精度浮動小数点型が指定できる。
日付/時刻型	日付や時刻が入力できる
通貨型	誤差の生じないの通貨型数値(整数部15桁、小数部4桁の固定小数点型)
オートナンバー型	1レコード入力するたびにカウントアップする型・ランダムな数値を指定することもできるが重複するデータは入らないように自動的に入力される。
Yes/No型	二者択一型データYes=-1 NO=0が入力される。
OLE型	外部の他のソフトで作成された絵・文書・表などのオブジェクトが挿入できる。

テーブルの作成

オブジェクトのテーブルをクリック 新規作成をクリック
新規作成をクリック テーブル新規作成ダイアログボックス
が開いたらデザインビューをクリック OKボタン
をクリック



デザインビューで設定

デザインビューでフィールド名を入力し、データの型はマウスで選択していく。

フィールド名入力

データの方を指定

説明：書いても書かなくてもよい

	フィールド名	データ型	説明
▼	生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
	生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
	性別	Yes/No型	YES:男性とする
	生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
	出身	テキスト型	日本語で入力する
	国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
▶	社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
		テキスト型	
		メモ型	
		数値型	
		日付/時刻型	
		通貨型	
		オートナンバー型	
		Yes/No型	
		OLE オブジェクト型	
		ハイパーリンク型	
		ルックアップ ウィ	

主キーを設定するフィールドをクリック 主キーのアイコンをクリック

生徒番号のフィールドをクリック

主キーのアイコンをクリック

成績管理 : データベース

生徒テーブル : テーブル

フィールド名	データ型	説明
生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
性別	Yes/No型	YES:男性とする
生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
出身	テキスト型	日本語で入力する
国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

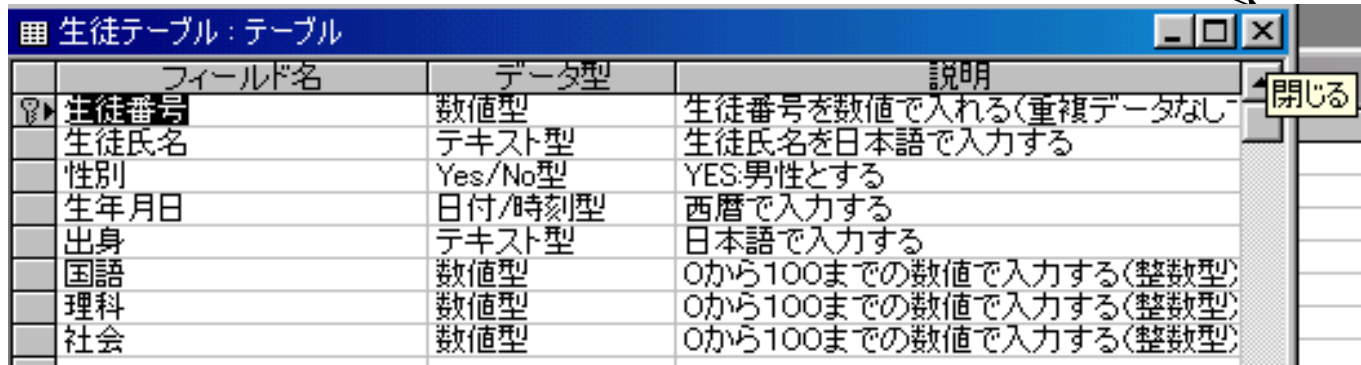
生徒番号のフィールドにかぎのマークがつく

生徒テーブル : テーブル

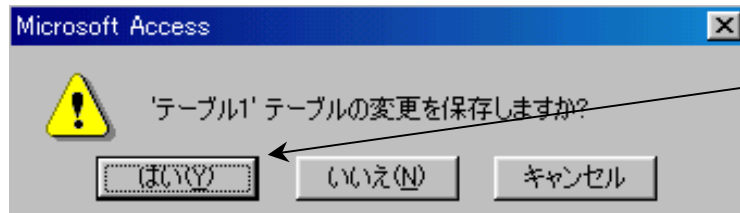
フィールド名	データ型	説明
生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
性別	Yes/No型	YES:男性とする
生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
出身	テキスト型	日本語で入力する
国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

作成したテーブルを保存する

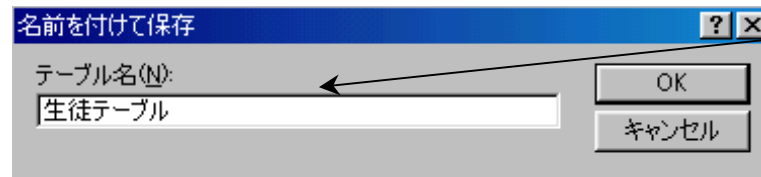
閉じるボタンをクリック



フィールド名	データ型	説明
生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなし)
生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
性別	Yes/No型	YES:男性とする
生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
出身	テキスト型	日本語で入力する
国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

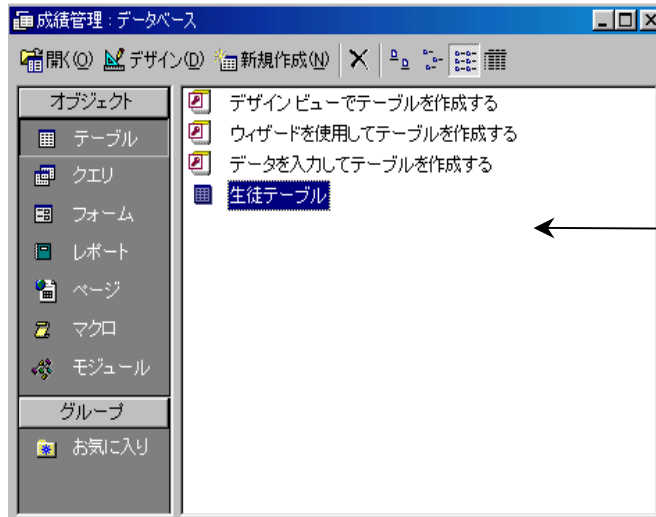


「はい」をクリック



テーブル名を入力し、
OKボタンをクリック

生徒テーブルという名前のテーブルが作成される。
(まだ何のデータも入力されていない)



作成された
テーブル

作成されたテーブルにデータを直接入力する

フィールド名

生徒テーブル: テーブル										
	生徒番号	生徒氏名	性別	生年月日	出身	国語	理科	社会		
	990101	山田太郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	20	30		
	990102	青木花子	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	40	50		
	990103	井上正	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	20	70		
	990104	加藤良子	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30	30		
	990105	佐々木三郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	20	10		
	990106	田中明子	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	10	80		
	990107	渡辺浩一郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	70	80		
			<input type="checkbox"/>			0	0	0		

入力したデータ (1行: 1レコード)

出身の項目をコンボボックスに変更する

生徒テーブル: テーブル

フィールド名	データ型	説明
生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
性別	Yes/No型	YES:男性とする
生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
出身	テキスト型	日本語で入力する
国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

フィールド プロパティ

標準 ルックアップ

表示コントロール
値集合タイプ
値集合ソース
連結列
列数
列見出し
列幅
リスト行数
リスト幅
入力チェック

コンボ ボックス
テキスト ボックス
リスト ボックス
コンボ ボックス
1
いいえ
8
自動
いいえ

テキストボックスからコンボボックスに変更する

フィールドをフォームに表示する

標準 ルックアップ

表示コントロール
値集合タイプ
値集合ソース
連結列
列数
列見出し
列幅
リスト行数
リスト幅
入力チェック

コンボ ボックス
値リスト
テーブル/クエリ
値リスト
フィールドリスト
いいえ
8
自動
いいえ

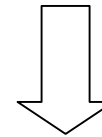
値リストを指定

「ルックアップ」のタブをクリック 表示コントロールを「テキストボックス」から「コンボボックス」に変更する。

値集合ソースに3つのデータを「;」で区切って入力する

標準	ルックアップ
表示コントロール	コンボ ボックス
値集合タイプ	値リスト
値集合ソース	東京;大阪;福岡
連結列	1
列数	1
列見出し	いいえ
列幅	
リスト行数	8
リスト幅	自動
入力チェック	はい

3つの選択肢を;で区切って入力



生徒テーブル: テーブル

生徒番号	生徒氏名	性別	生年月日	出身	国語	理科	社会
990101	山田太郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	20	30
990102	青木花子	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	40	50
990103	井上正	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	20	70
990104	加藤良子	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30	30
990105	佐々木三郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	20	10
990106	田中明子	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	10	80
990107	渡辺浩一郎	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	70	80
* 0		<input type="checkbox"/>		東京 大阪 福岡	0	0	0

コンボボックスとなって、登録した3候補が表示され、クリックで選択できる

作成してある「生徒テーブル」に、新たに「ふりがな：テキスト型」というフィールドを「生徒氏名」フィールドの下に追加する

生徒テーブル：テーブル			
	フィールド名	データ型	説明
▼	生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
	生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
	性別	Yes/No型	YES:男性とする
	生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
	出身	テキスト型	日本語で入力する
	国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
▶	ふりがな	テキスト型	追加するフィールド

生徒テーブルをデザインでビューで開く。フィールドの一番最後にフィールド名：ふりがなと入力。

データの型：テキストを指定（文字数は規定値でよい）

新たに追加したフィールド

一番最後に追加した「ふりがな」フィールドを「生徒氏名」フィールドの下に移動する。

生徒テーブル：テーブル			
	フィールド名	データ型	説明
▼	生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
	生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
	性別	Yes/No型	YES:男性とする
	生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
	出身	テキスト型	日本語で入力する
	国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
▶	ふりがな	テキスト型	追加するフィールド

[ふりがな]フィールドのフィールドセレクトをクリックしてアクティブにする。ドラッグ&ドロップで「生徒氏名」フィールドの下まで移動する

ふりがなフィールドのフィールドセレクトをクリックし、ふりがなフィールドをアクティブにする

新フィールドの追加

ふりがなフィールドを生徒氏名の下まで移動する

生徒テーブル：テーブル			
	フィールド名	データ型	説明
▼	生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
	生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
▶	ふりがな	テキスト型	追加するフィールド
	性別	Yes/No型	YES:男性とする
	生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
	出身	テキスト型	日本語で入力する
	国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

最後に新フィールドを追加する代わりに、性別のフィールドをクリックしアクティブにした後、メニューバーの「挿入」「行追加」をクリックして(または行挿入アイコンをクリック)、空白の一行を挿入してからフィールド名・データ型を指定してもよい。

生徒テーブル：テーブル			
	フィールド名	データ型	説明
▼	生徒番号	数値型	生徒番号を数値で入れる(重複データなしで主キー項目にする)
	生徒氏名	テキスト型	生徒氏名を日本語で入力する
	ふりがな	テキスト型	追加するフィールド
	性別	Yes/No型	YES:男性とする
	生年月日	日付/時刻型	西暦で入力する
	出身	テキスト型	日本語で入力する
	国語	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
▶	理科	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)
	社会	数値型	0から100までの数値で入力する(整数型)

閉じるボタンをクリックした後変更を保存する。

理科のフィールドセレクタをクリックしてアクティブにする

行削除アイコン



テーブルをデザインビューで開く 削除するフィールドのフィールドセレクタをクリックしてアクティブにする メニューバーの「編集」「削除」をクリックする(または行削除アイコンをクリック)。

テーブルを使用したソートとフィルタ

ふりがなフィールドをクリック

昇順に並べ替えのアイコンをクリック

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30
990102	青木花子	あおきはなこ	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50
990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0

「生徒テーブル」の「ふりがな」フィールドを昇順（あいうえお順）にソート（並べ替え）を実施する。

生徒テーブルを開く
ふりがなフィールドをクリック
レコード 並べ替え 昇順で並べ替えをクリックしていく。または昇順に並べ替えのアイコンをクリックする。

ふりがなフィールドに入っているデータの昇順に行単位で全体が並べ替えられている

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990102	青木花子	あおきはなこ	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50
990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0

全文一致条件検索

レコード フィルタ 選択フィルタをクリックしていく

The screenshot shows the Microsoft Access interface. The 'Records' menu is open, and 'Select Filter' is selected. The '出身' (Origin) field in the '生徒テーブル' table is highlighted with '東京' (Tokyo) selected. The table data is as follows:

生徒番号	生徒氏名	生年月日	出身	国語	社会
990101	山田太郎	85/10/02	東京	10	30
990102	青木花子	85/11/03	大阪	30	50
990103	井上正	84/03/04	福岡	20	70
990104	加藤良子	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	85/09/13	福岡	40	80
990107	渡辺浩一郎	85/03/03	大阪	60	80
* 0				0	0

フィルタが実行され、該当するレコードが表示される

東京のセルをクリック

全文一致条件...条件のデータとまったく同じデータを持つレコードを抽出する。

フィルタを実施する「生徒テーブル」を開き、出身フィールドが「東京」と同じデータを持つレコードを抽出する。

「出身」フィールドの「東京」をクリック
メニューバーの「レコード」「選択フィルタ」をクリックする。すぐに実行されて抽出結果が表示される。

一部一致条件検索

レコード フィルタ 選択フィルタをクリック

メニュー: レコード(R) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

- フィルタ(F)
 - フォーム フィルタ(F)
 - 選択フィルタ(S)**
 - 非選択フィルタ(O)
 - フィルタ/並べ替えの編集(A)...
- 並べ替え(S)
- フィルタ/並べ替えの実行(Y)
- フィルタ/並べ替えの解除(R)
- 更新(H)
- データ入力(D)

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990101	山田太郎	やまだた	<input type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30
990102	青木花子	あおきは	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50
990103	井上正	いのうえたし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70
990104	加藤真子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
0			<input type="checkbox"/>			0	0

文字列の「木」をドラッグ

該当レコード 2 件が抽出

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990102	青木花子	あおきはなこ	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
0			<input type="checkbox"/>			0	0

一部一致...フィールドのデータの中の一部が一致しているものを抽出する。

フィルタを実施する「生徒テーブル」を開き、フィールドのデータ中的一部分をドラッグするメニューバーの「レコード」「選択フィルタ」をクリックしていく。

すぐに抽出が実行され結果が表示される。

選択フィルタを利用したデータの絞り込み

「う」をドラッグし、選択フィルタのアイコンをクリックする

生徒テーブル: テーブル

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	選択コース	部活動	掃除担当区分
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30	1	1	1
990102	青木花子	あおきまなこ	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50	1	1	2
▶ 990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	100	80	1	2	3
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/01	東京	40	30	2	3	1
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10	2	1	4
990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	100	80	1	2	1
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80	2	3	3
990108	ヤマモトケンイチ	やまもとけんいち	<input checked="" type="checkbox"/>	80/05/05	大阪	50	40	2	3	2
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0	0	0	0

選択フィルターを利用すれば、検索データを徐々に絞り込んでいくことができる。

「う」のつくものが抽出される。さらにその中の文字列の中の「た」をドラッグし、選択フィルタのアイコンをクリックする

ふりがなフィールドで文字列の途中に「う」があるものを抽出し、その中で文字列の中に「た」を含むものを抽出する。

生徒テーブル: テーブル

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	選択コース	部活動	掃除担当区分
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80	2	3	3
▶ 990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30	1	1	1
990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	100	80	1	2	3
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/01	東京	40	30	2	3	1
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10	2	1	4
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0	0	0	0

抽出結果

生徒テーブル: テーブル

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	選択コース	部活動	掃除担当区分
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80	2	3	3
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30	1	1	1
▶ 990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	100	80	1	2	3
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0	0	0	0

生徒テーブル: フォームフィルタ

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身
▶		Like "*う*" And Like "*た*"	<input checked="" type="checkbox"/>		

フォームフィルタのアイコンをクリックしてどのような条件式が作成されたか確認する。Like演算子とAND演算子を使用した複合検索の条件式が作成されている。

フォームフィルタの実施

レコード フィルタ フォーム
フィルタをクリック

レコード(R) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

- フィルタ(E)
 - フォームフィルタ(E)
 - 選択フィルタ(S)
 - 非選択フィルタ(X)
 - フィルタ/並べ替えの編集(A)...
- 並べ替え(S)
- フィルタ/並べ替えの実行(Y)
- フィルタ/並べ替えの解除(R)
- 更新(H)
- データ入力(D)

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990101	山田太郎	やまだた		85/10/02	東京	10	30
990102	青木花子	あおきは		85/11/03	大阪	30	50
990103	井上正	いのうえた	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70
990104	加藤良子	かとうりよ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	ささきさぶ	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	たなかあき	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
990107	渡辺浩一郎	わたなべこう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
*	0		<input type="checkbox"/>			0	0

フォームフィルタは、
選択フィルタと違い、
最初にフォームフィル
タ実行状態にしておき、
次に条件を入力し、最
後にフィルタ実行す
るという手順で行う。

使用するテーブルを開
く フォームフィルタ
命令を実行する 条件
を設定する 「フォー
ムフィルタ実行」命
令を実施する。

生徒テーブル: フォーム フィルタ

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
			<input checked="" type="checkbox"/>		東京 大阪 福岡		

条件記入行: 条件入力する行は最
初すべて空白にしておく

ワイルドカードを利用した検索

ワイルドカードを使用した条件を入力

生徒テーブル: フォーム フィルタ								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
		[わ]	<input type="checkbox"/>					

Like “*[うわ]*”と表示

生徒テーブル: フォーム フィルタ								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
		Like “*[うわ]*”	<input type="checkbox"/>					

フィルタを実行する

生徒テーブル: テーブル								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80	
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30	
990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70	
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30	
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10	
* 0			<input type="checkbox"/>			0	0	

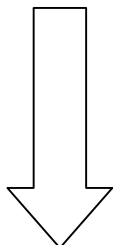
ふりがなフィールドで文字列に「う」または「わ」が付く生徒を抽出する。

フォームフィルタを実行する。ふりがなフィールドに条件式 `*[うわ]*` と入力しエンターキーで確定。「Like `*[うわ]*`」と表示される（自動的にあいまい検索のLike演算子を使用した式が作成される）。

範囲条件検索

数値では主に「以上、以下」といった範囲条件が設定することが多い。

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
			<input checked="" type="checkbox"/>			>=40	



国語フィールドが40以上のレコードが抽出

以上...半角の「>=」を使用
以下...半角の「<=」を使用

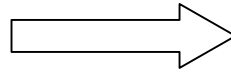
いま「国語」フィールドが40以上のものを抽出する。

フォームフィルタを実行し、「国語」フィールドの条件記入行に「>=40」という式を入力する。意味は「40以上」である。

生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
*	0		<input type="checkbox"/>			0	0

複合条件の設定

フォームフィルタを実行する



第1の条件である東京と入力

生徒テーブル: フォーム フィルタ								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
			<input checked="" type="checkbox"/>		東京			

抽出条件 または

現在は第1番目の条件ページになっている

生徒テーブル: フォーム フィルタ								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
			<input checked="" type="checkbox"/>					

抽出条件 または

「または」のタブをクリック、第2ページ目の条件入力ページがアクティブとなる

OR条件...条件を複数設定し、そのうち1つでも該当すればよいという条件である。

OR条件は、シート下部にある「または」のタブをクリックして条件を追加する。

生徒テーブル: フォーム フィルタ								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
			<input checked="" type="checkbox"/>			>=60		

国語の条件記入行に2番目の条件式「>=60」と入力

2つの条件のどちらかに該当するレコードが表示される

生徒テーブル: テーブル								
生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会	
990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80	
990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30	
990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30	
990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10	
*	0		<input type="checkbox"/>			0	0	

AND条件

顧客テーブル: フォーム フィルタ

番号	氏名	ふりがな	性別	生年月日	購入額
			<input checked="" type="checkbox"/>		>=2000

抽出条件 / または /

条件設定1ページ目に2つの条件を入力

現在の条件設定ページは1ページ目

フィルタを実行

女性かつ購入額が2000以上のレコードが抽出

顧客テーブル: テーブル

番号	氏名	ふりがな	性別	生年月日	購入額
3	下田栄子	シタダエiko	<input checked="" type="checkbox"/>	74/02/15	¥5,000
7	上田良子	ウエダリョウこ	<input checked="" type="checkbox"/>	55/04/05	¥2,000
*	(オートナンバー)		<input type="checkbox"/>		¥0

レコード: 1 / 2 のフィルタ

AND条件...複数の条件を設定し、そのすべての条件に該当するレコードを抽出する。

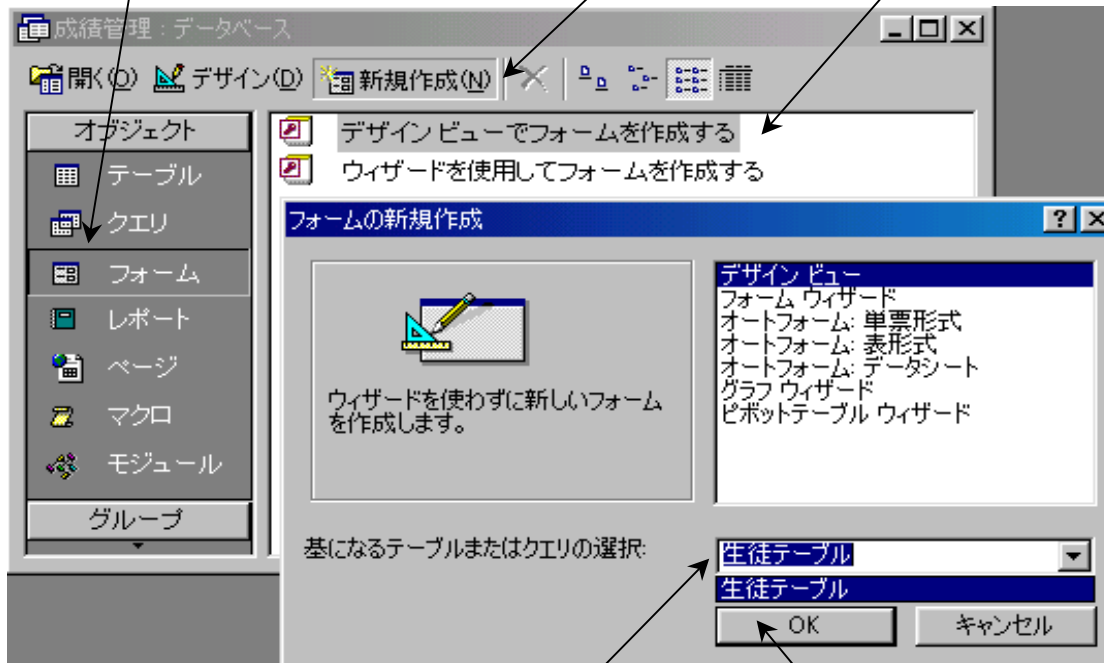
フォームフィルタを実行し、同一ページの条件設定行に複数の条件を入力してフィルタを実行する。いま、「性別：チェックあり（女性）」かつ「購入額：2000以上」の2つの条件をともに満足するレコードを抽出する。2つの条件は「AND」であるから、同一条件ページに2つの条件を入力する。

テーブルを基とした簡単なフォームの作成

オブジェクトの「フォーム」をクリック

「新規作成」をクリック

「デザインビュー」をクリック



基とするテーブルとして既に作成してある「生徒テーブル」を指定する

OKボタンをクリック

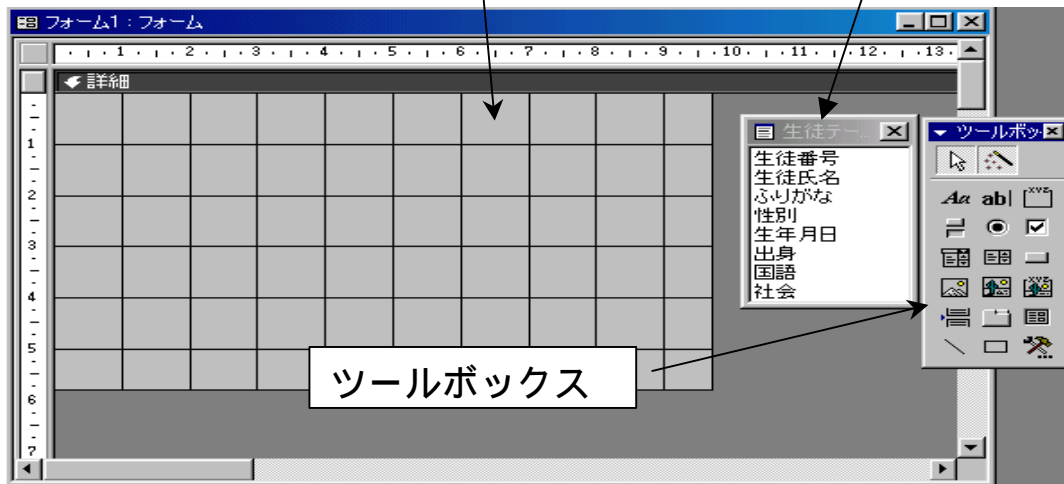
フォームの作成には、手動作成の「デザインビュー」で作成する方法と、自動作成の「ウィザード」で作成する方法がある。

オブジェクトの「フォーム」をクリック 「新規作成」をクリック フォーム新規作成のダイアログボックスが開くので、その中の「デザインビュー」をクリックし、下の「基にするテーブルまたはクエリの選択」で基テーブルとしてすでに作成してある「生徒テーブル」を指定する OKボタンをクリック。

連結コントロールの使用

フォーム作成エリア
(詳細部分)

生徒テーブルのフィールドリスト



フォーム作成エリア上にコントロールと呼ばれるものをドラッグ&ドロップで貼り付けていく。このときテーブルのフィールドリストをドラッグ&ドロップで貼り付けると、基のテーブルと連結されてテーブルの値が表示される(連結コントロールと呼ぶ)。

ツールボックス上のコントロールを貼り付けると、テーブルとは連結していないのでテーブルの値は表示されない(非連結コントロールと呼ぶ)。

ラベル

テキスト
ボックス

生徒テーブルの
フィールドリスト
を全部選択



ドラッグ&ドロ
ップでフォームの
詳細部分に貼り付
ける(連結コント
ロールとなる)

フィールドリストをクリックしてアクティブにし、ドラッグ&ドロップでフォーム作成エリア上に貼り付ける。複数のフィールドリストをアクティブにするには、CTRLキーを押しながらフィールドリストをクリックする方法(クリックするたびに選択されるリストが増えていく)、SHIFTキーを押しながらリストの先頭と最後をクリックする方法(一度に先頭と最後の範囲のすべてのフィールドリストが選択される)がある。

フォームの編集

生徒氏名のラベルをクリック

プロパティのアイコンをクリックし、プロパティのダイアログボックスを出す



フォームには、フォーム自体や貼り付けたコントロールにいろいろな設定を行う「プロパティ」がある。このプロパティを使用して各コントロールにさまざまな設定を行う。

現在アクティブになっているコントロールの名前：ラベル0 タイトル：生徒番号 となっている

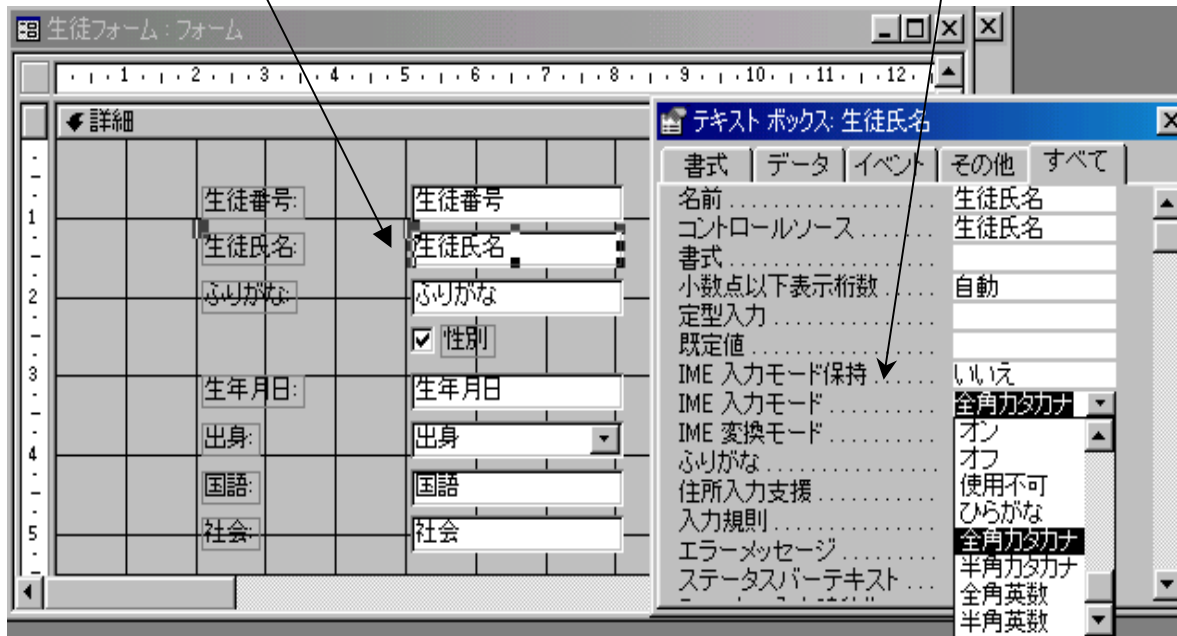
フォーム上に貼り付けた「コントロール」には、そのコントロール自体の名前と表題（表示される文字列）がある。

入力モードの設定

日本語を使用するか、全角・半角英数で入力するかを指定する。

テキストボックス「生徒氏名」をクリック

プロパティを出し、IME入力モードを指定する

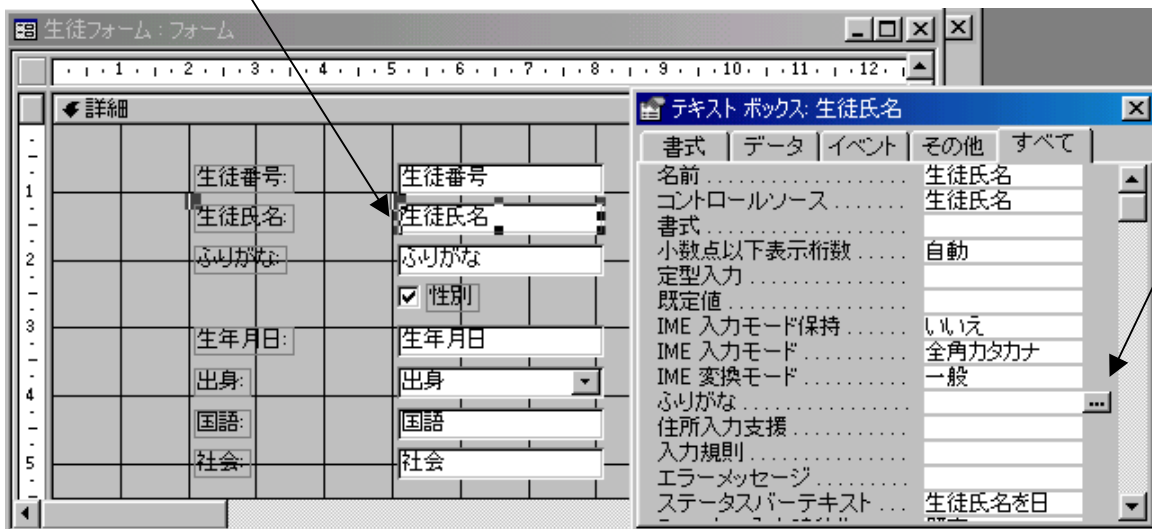


テキストボックス「生徒氏名」をクリック プロパティを出す IMEモードを希望するモードにする 変更したフォームを再保存する。

ふりがなコントロールの使用

生徒氏名をクリック

プロパティを表示し、「ふりがな」の...をクリック



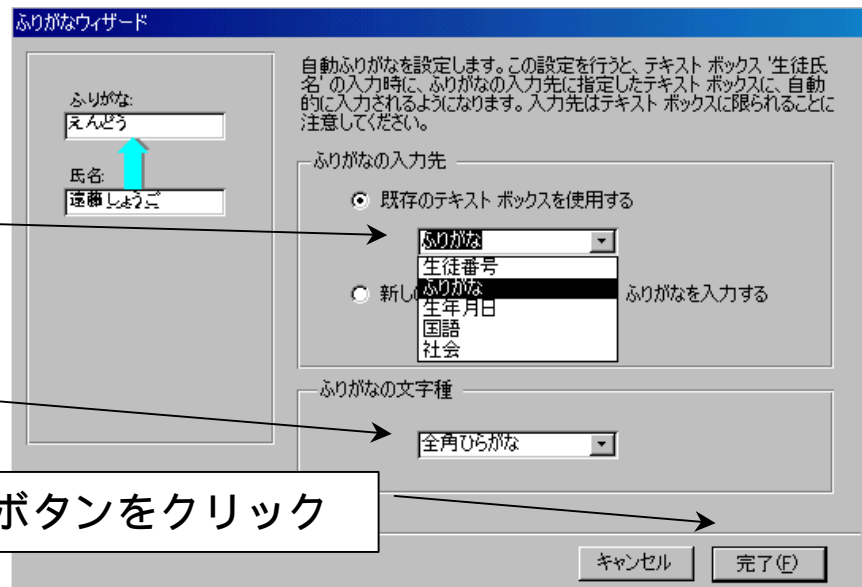
「生徒氏名」をクリック
プロパティを出し「ふりがな」の...をクリックし、ウィザードをスタートさせる。

ふりがなウィザードが立ち上がる

ふりがなを表示させるテキストボックス名を指定する

ふりがなの文字種を指定する

完了ボタンをクリック



データの追加

編集したフォームを開き最終レコードに1件データを追加してみる

生徒番号: 990108
生徒氏名: ヤマモトケンイチ
ふりがな: やまもとけんいち
 性別
生年月日:
出身:
国語: 0
社会: 0
レコード: 8 / 8

「生徒氏名」テキストボックスに「やまもとけんいち」と入力。IMEを「全角カタカナにしている」ので、カタカナ表示となる

「生徒氏名」テキストボックスのデータが確定すると、「ふりがな」のテキストボックスにひらがなで表示される

レコード移動ボタンで最終レコードへ移動

テーブルを開き、フォーム上から入力したデータが保存されていることを確認する。

	生徒番号	生徒氏名	ふりがな	性別	生年月日	出身	国語	社会
▶	990101	山田太郎	やまだたろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/10/02	東京	10	30
	990102	青木花子	あおきはなこ	<input type="checkbox"/>	85/11/03	大阪	30	50
	990103	井上正	いのうえただし	<input checked="" type="checkbox"/>	84/03/04	福岡	20	70
	990104	加藤良子	かとうりょうこ	<input checked="" type="checkbox"/>	86/06/10	東京	40	30
	990105	佐々木三郎	ささきさぶろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/07/08	東京	60	10
	990106	田中明子	たなかあきこ	<input type="checkbox"/>	85/09/13	福岡	40	80
	990107	渡辺浩一郎	わたなべこういちろう	<input checked="" type="checkbox"/>	85/03/03	大阪	60	80
*	990108	ヤマモトケンイチ	やまもとけんいち	<input type="checkbox"/>			0	0

最終レコードに、フォームで入力したデータが入力されている

オプションボタンの使用

すでに作成済のチェックボックス上で右クリックし、ポップアップメニューを表示させる

メニューの「コントロールの種類の変更」「オプションボタン」を選択

生徒フォームをデザインビューで開き、性別の項目が現在チェックボックスとなっているので、これをオプションボタンに変更する。

性別のチェックボックス上で右クリックし、「ポップアップメニュー」を出し、「コントロールの種類の変更」にマウスポインタを合わせ、さらに表示されるサブメニューから「オプションボタン」をクリックする。編集したフォームを再保存する。

オプションボタンに変更されている

生徒番号:	990101
生徒氏名:	山田太郎
ふりがな:	やまだたろう
性別:	<input checked="" type="radio"/>
生年月日:	85/10/02
出身:	東京
国語:	10
社会:	30

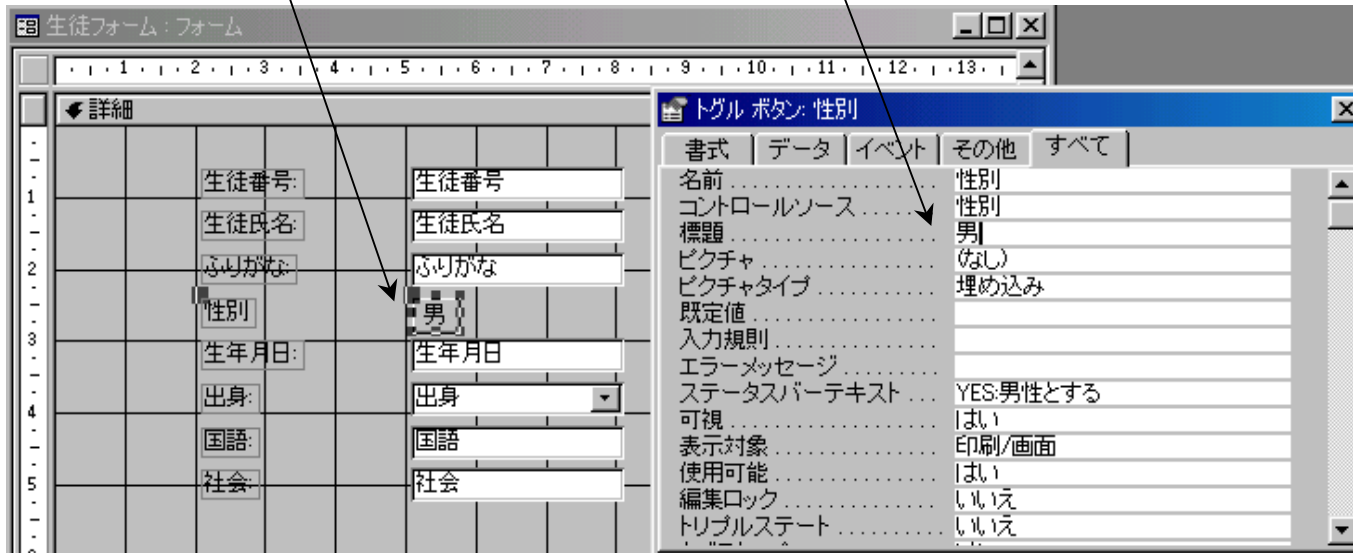
レコード: 1 / 8

オプションボタンに変更したフォームを開き、変更部分を確認。

トグルボタンの使用

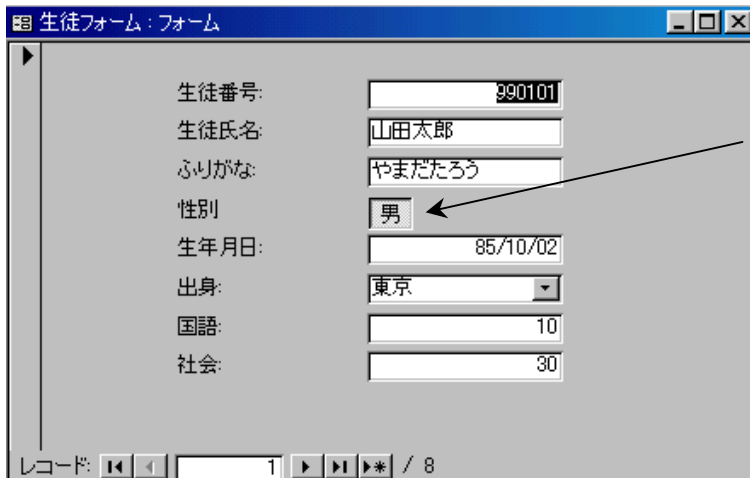
トグル
ボタンに
変更した

プロパティシートを
表示し、表題に「男」
と入力



トグルボタンはスイッチを押した状態と押されていない状態に表示するボタンである。

ただし、どんなスイッチが押されたのかが分かるように、「トグルボタン」のプロパティで「表題」に文字を入力しておくことよ。編集した後、フォームを再保存する。



トグルボタンに変更され、男という文字が表示され、スイッチが押された状態となっている。

作成したフォームを開いて確認する。

オプショングループの作成

生徒フォーム：フォーム

詳細

生徒番号:	生徒番号
生徒氏名:	生徒氏名
ふりがな:	ふりがな
性別:	男
生年月日:	生年月日
出身:	出身
国語:	国語
社会:	社会

ツールボックス

オプショングループ

オプショングループを作成する範囲をドラッグ

オプショングループをクリック

ツールボックスの「オプショングループ」をクリック フォーム上にマウスでボックス状にドラッグ ウィザードが実行される。

オプショングループを作成する範囲をドラッグ

オプショングループウィザード

項目ラベルを入力し、次へをクリック

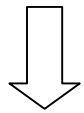
オプション グループ ウィザード

オプション グループには、オプション ボタン、チェック ボックス、トグル ボタンのいずれか 1 種類を含めることができます。

オプションに付けるラベルを指定してください。

ラベル名 :	
<input type="checkbox"/>	文型
<input type="checkbox"/>	理系
<input type="checkbox"/>	*

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)



既定値とするラベル名を指定し、次へ

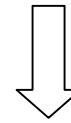
オプション グループ ウィザード

オプション グループに既定のオプションを設定するかどうかを指定してください。

次のオプションを既定にする

既定のオプションを設定しない

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)



ラベルに割り当てるオプション値を指定し、次へ

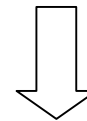
オプション グループ ウィザード

オプション グループのオプションをクリックすると、そのオプションに割り当てられている値が、オプション グループに設定されます。

各オプションに割り当てる値を指定してください。

ラベル名 :	値 :
▶ 文型	1
理系	2

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)



選択されたオプション値を保存するフィールドを指定し、次へ

オプション グループ ウィザード

選択されたオプションの値は、フィールドに保存したり、印刷などの作業を行うために利用したりできます。

選択されたオプションの値をどのように使うかを指定してください。

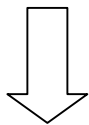
後の作業で使用する

次のフィールドに保存する

選択コース

- 性別
- 生年月日
- 出身
- 国語
- 社会
- 選択コース
- 部活動
- 掃除担当区分

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)



オプショングループに配置するボタンの種類などを指定し、次へ

オプション グループ ウィザード

オプション グループに含めるコントロールを選択してください。

オプション ボタン
 チェック ボックス
 トグル ボタン

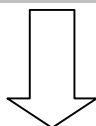
オプション グループのスタイルを選択してください。

枠囲み 影付き
 標準 くぼみ
 浮き出し

サンプル

文型
 理系

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)



オプショングループにつける表題を入力し、完了

オプション グループ ウィザード

オプション グループの表題を指定してください。

選択コース

これで、オプション グループを作成するための設定は終了しました。

オプション グループのカスタマイズについてヘルプを表示する

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

オプショングループウィザード

2つのオプションボタンが配置されたオプショングループが作成される。以下同様にして残りのオプショングループを作成する。

詳細

生徒番号:	生徒番号
生徒氏名:	生徒氏名
心りがな:	心りがな
性別:	男
生年月日:	生年月日
出身:	出身
国語:	国語
社会:	社会
選択コース:	<input checked="" type="radio"/> 文型 <input checked="" type="radio"/> 理系

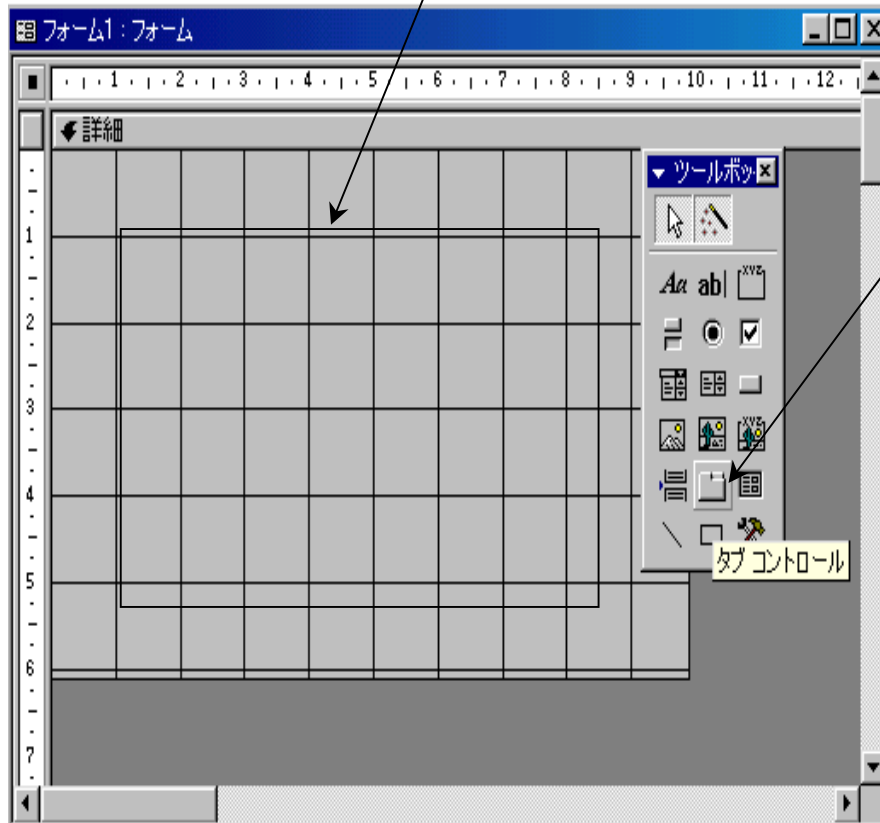


オプショングループの表題

配置された2つのオプションボタン

タブコントロールの使用

フォーム上をボックス状にドラッグ



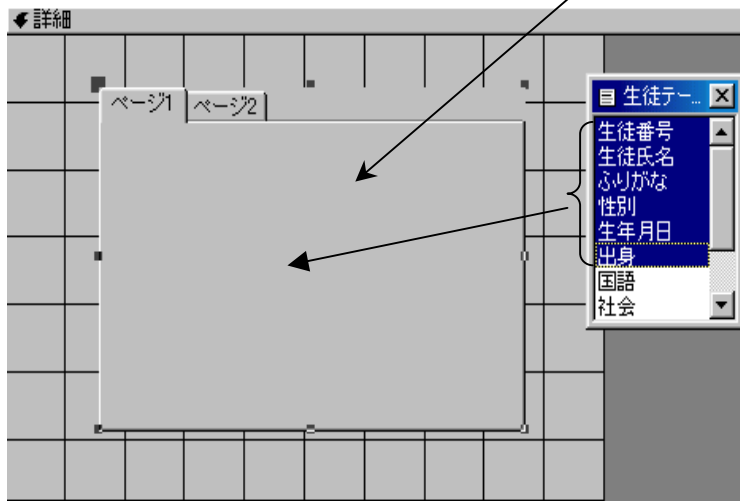
タブコントロールをクリック

タブコントロールを作成する。

フォームをデザインビューで開き、
ツールボックスを表示させる。ツール
ボックスのタブコントロールを
クリックし、フォーム上をボック
ス状にドラッグする。

タブコントロールの作成

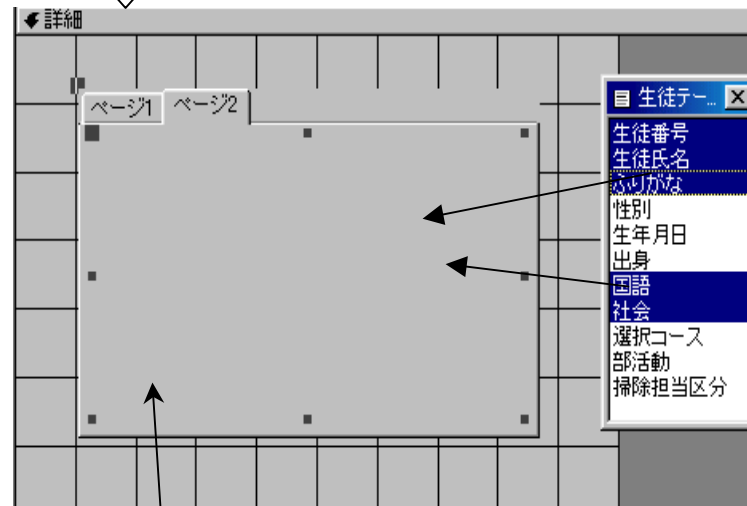
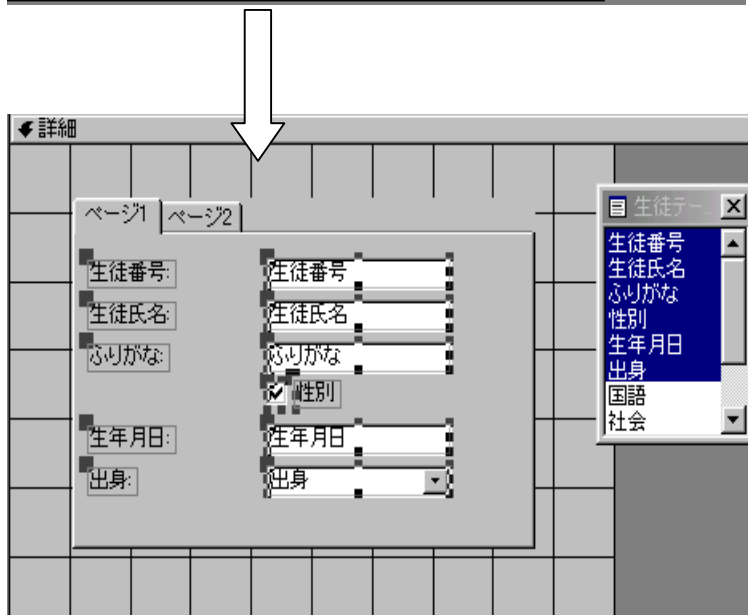
ページ1に表示させる「生徒テーブル」のフィールドを貼付ける



作成したタブコントロール上に、必要なコントロールを配置する。

基として指定した「生徒テーブル」のプロパティを表示させ、[ページ1]に表示させたいコントロールを貼り付ける。

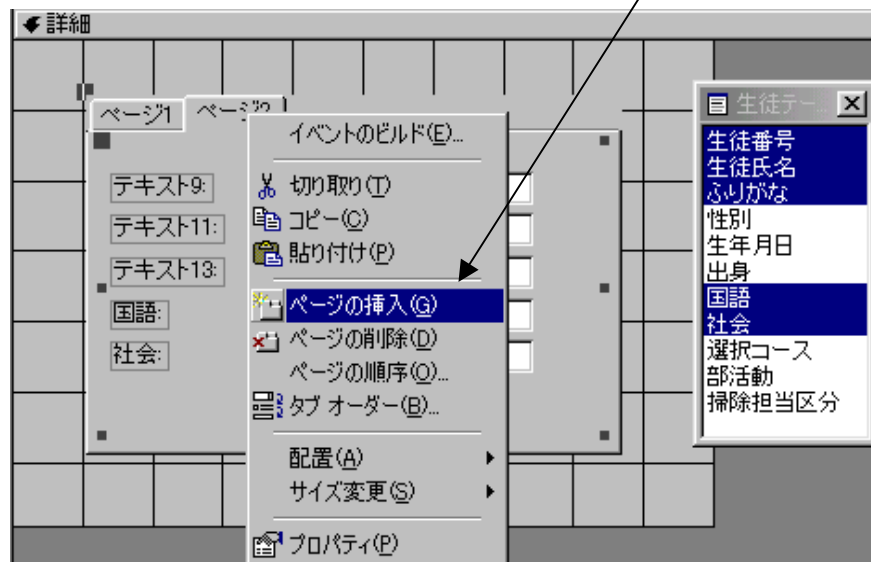
[ページ2]のタブをクリックし、ページ2に表示させたい「生徒テーブル」のフィールドを貼り付ける



ページ2に表示させる「生徒テーブル」のフィールドを貼付ける

ページの追加

ページ挿入をクリック



ページを新しく挿入する。

ページのタブで右クリックし、ポップアップメニューが出たら、「ページの挿入」をクリック。ページ3が挿入されたら、ページ3に表示させたい「生徒データ」のフィールドを貼り付ける。

